

## 第193回実施本部会議記録

日時：平成27年10月28日（水）

午前7時30分～午前8時11分

場所：放射線医学県民健康管理センター

### 本部員及び出席者

- ・ 本部長：大戸 齊 副理事長（県民健康管理担当）兼副学長（総務担当）
- ・ 副本部長：阿部 正文 センター長
- ・ 本部員：山下 俊一 副センター長（Web参加）
- ・ 本部員：神谷 研二 副センター長
- ・ 本部員：谷川 攻一 副センター長
- ・ 本部員：安村 誠司 公衆衛生学講座主任
- ・ 本部員：大津留 晶 甲状腺検査部門長
- ・ 本部員：前田 正治 健康調査部門長
- ・ 本部員：大平 哲也 健康調査支援部門長
- ・ 本部員：松井 史郎 広報コミュニケーション室長（出張のため欠席）
- ・ 本部員：鈴木 悟 甲状腺検査推進室長
- ・ 本部員：緑川 早苗 甲状腺検査推進室長
- ・ 本部員：石川 徹夫 基本調査・線量評価室長
- ・ 本部員：橋本 重厚 健康調査・健康増進室長（出張のため欠席）
- ・ 本部員：藤森 敬也 妊産婦調査室長
- ・ 本部員：高橋 秀人 情報管理・統計室長（途中より出席）
- ・ 本部員：田中 成省 広報推進室長
- ・ 本部員：ノレット・ケネス 国際連携室長
- ・ 本部員：佐治 重衡 地域がん登録室長（出張のため欠席）
- ・ 本部員：坂井 晃 基本調査・線量評価室副室長
- ・ 本部員：村上 道夫 リスクコミュニケーション室副室長
- ・ 本部員：大谷 英明 事務局次長（復興担当）

<事務局> 宍戸課長、黒澤室長、菅野主幹、武田副課長、渡邊副課長、広部副室長、  
松谷副室長、菅野主任主査、高橋主任主査、八木沢主任主査、  
菅野主査（キャップ）

## 1 開 会

## 2 報 告

### (1) 平成27年度甲状腺検査（追加実施）【H27市町村分】検討（案）について

#### 【資料により説明】

- ・一次検査の26年度未受診者に対しては、27年度に追加検査として受診勧奨しているが、27年度未受診者に対する追加検査については、データベースの仕組みから来年度以降に持ち越せず、受診機会を平等に確保するため、年度内に実施予定。3月をもって本格検査1回目がすべて終了する予定。

#### 【意見等】

- ・会津後期6市町村は追加実施を行わないとのことだが、確定なのか。  
→追加検査としてではなく、本格検査の2回目として受診いただくということ。
- ・データベースの関係で追加実施が難しいというのは、どういうことか。  
→現行システムは年度で紐付けされており、来年度4月以降に本格検査に入った時に年度の紐付けを継続して持つことができない。
- ・1回目の本格検査を受けなかった方が3年目に検査を受けたいとなった場合、1回目の本格検査を受けられないことになるが、クレームが来たりする恐れはないか。  
→対象者にとっては、1回目、2回目という区別はないので、それでクレームが来ることはないと思われる。広報推進室にも相談し、早めに周知していきたい。
- ・会津後期6市町村の追加実施については、次回、再度報告すること。会津後期6市町村を除いては、(案)のとおり進めることです。

### (2) リスクコミュニケーションに関する講演会について

#### 【資料により説明】

- ・翌日14日にワークショップも開催する。詳細は追って連絡する。

## 3 議 題

### 一次検査結果通知様式について

#### 【資料により説明】

- ・現行では、先行検査の結果と本格検査1回目の結果から23パターンに分けて通知しているが、今後本格検査を繰り返していく中で、複雑な形になっていくと誤りも発生するので、単純化して4パターンに分類することとしたい。

#### 【意見等】

- ・現在、保険診療でフォローアップされている方に対しても二次検査を案内するような説明文になっており、問い合わせが多いことも見直しの要因の一つ。
- ・サービス低下にも繋がらず、また、シンプルなものの方がシステム投資も少なく良いのではないか。
- ・Web等で様式をあらかじめ周知できると良いのではないか。

#### 4 その他

##### (1) Fukushima International Medical Science Center Full-scale Operation Schedule Update

【資料により説明】

【意見等】

- ・了とする

##### (2) 論文進捗に向けたプロジェクトチームについて

・それぞれのチーム内で十分に話し合いを持ち、情報の共有や論文の課題設定等をお願いしたい。プロジェクトリーダー会議も開催する。

・プロジェクトチームについては、岡山大学津田教授の論文を契機にこれまでの経過を整理して、早急に科学的な立場から情報発信していく必要があるという理事長からの強い要請でもあり、我々の一つの役割でもあるので、よろしくお願ひしたい。

##### (3) その他情報共有

・岡山大学津田教授の論文に関連した県民の方からの入電は2件。Scott Davis 博士の論評をホームページに掲載したことについても2件反応があった。

・UNSCEAR でアップデートされた報告書については、国際連携室と広報推進室で情報共有をすること。

・UNSCEARのMalcolm Crick事務局長が12月1日に県庁を表敬訪問予定。

放射線医学県民健康管理実施本部会議（第193回）

日時：平成27年10月28日（水）

午前7時30分

場所：放射線医学県民健康管理センター

＜ 次 第 ＞

1 開 会

2 報 告

（1）平成27年度甲状腺検査（追加実施）【H27市町村分】検討（案）について

（2）リスクコミュニケーションに関する講演会について

3 議 題

一次検査結果通知様式について

4 その他

ふくしま国際医療科学センター全面稼働に向けた工程表の更新について

5 閉 会

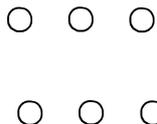
放射線医学県民健康管理実施本部会議（第193回）

☆ ウェブ参加

- ・山下 俊一 副センター長

《座席図》

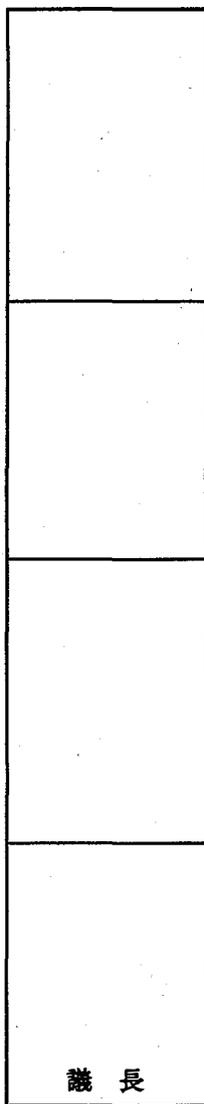
事務局



☆ 出張等による欠席

- ・松井 史郎 広報コミュニケーション室長
- ・橋本 重厚 室長（健診・健康増進）
- ・佐治 重衡 室長（がん登録）

- ・村上 道夫 副室長（リスコミ）
- ・ノレット ケネス 室長（国際連携）
- ・高橋 秀人 室長（情報・統計）
- ・石川 徹夫 室長（基本・練量）
- ・鈴木 悟 室長（甲状腺）
- ・前田 正治 部門長（健康調査）
- ・安村 誠司 公衆衛生学講座主任
- ・神谷 研二 副センター長



- ・事務局 大谷 英明 次長
- ・坂井 晃 副室長（基本・練量）
- ・田中 成省 室長（広報）
- ・藤森 教也 室長（妊産婦）
- ・緑川 早苗 室長（甲状腺）
- ・大平 哲也 部門長（健康調査支援）
- ・大津留 晶 部門長（甲状腺）
- ・谷川 攻一 副センター長
- ・阿部 正文 センター長



- ・大戸 斉 本部長

平成27年度甲状腺検査（追加実施）【H27実施市町村分】検討（案）

検査の実施状況（H27.10.23現在）

市町村区分	学校検査	一般会場検査
いわき市 (未発送分15646名)	北部終了（9月上旬） 南部終了（10月中旬） 中部（明年2/29まで）	北部終了（8月下旬） 南部終了（10月中旬） 中部（12/21, 1/7, 3/15）
須賀川市・鏡石町	終了（6月下旬）	終了（8月下旬）
相馬市・新地町	終了（6月下旬）	終了（8月下旬）
会津前期11町村	終了（9月上旬）	終了（10月中旬）
県中・県南12町村	実施中（10月上旬～11月下旬）	予定（11月下旬～12月下旬）
会津後期6市町村	予定（11月中旬～2月上旬）	予定（年未年始、3月上旬）

追加実施の考え方

いわき市	①28/3/17（木）一般会場 ②28/3/21（月）休日実施	発送対象者数約12000名（北部および南部地区の対象者のみ） ※中部地区の追加実施は行わない。
須賀川市・鏡石町	28/3/18（金）一般会場	発送対象者数約5000名
相馬市・新地町	28/3/23（水）一般会場	発送対象者数約2500名
会津前期11町村	発送対象者数約2400名 会津若松市等で実施する一般会場検査（3月上旬）日程を、改めて「お知らせ」をする。	
県中・県南12町村	28/3/22（火）一般会場	12/25検査日分までの受診者確定数で、発送対象者の概数計算を行い、最終的な発送対象者数を確定する。
会津後期6市町村	3月上旬に一般会場検査を実施するので、追加実施は行わない。	

	日	月	火	水	木	金	土
実施日		2月29日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	
実施場所	休み	(い)好間第一小 334 3 (い)綴小 72 1 (い)宮小 71 1	(あ)新川町保健センター 262 1 (あ)会津坂下町保健センター 1232 4	(あ)会津真里町新館公民館 1457 5	(あ)喜多川市山部保目センター 527 2 (あ)会津沖町公民館 435 1	(あ)神代川町公民館 1500 5	休み
		477 5	1494 5	1457 5	962 3	1500 5	
実施日		3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	
実施場所	休み	(会)ベル・ルクス 1500 5	検査なし	(会)アピオスペース 1500 5	(会)アピオスペース 1500 5	(会)アニエス会 670 3 (会)会津県立高I会館 671 3	休み
		1500 5	0 0	1500 5	1500 5	1341 6	
実施日		3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	
実施場所	休み	(会)ベル・ルクス 1500 5	(あ)いわねニュータウンセンタービル 784 3 (あ)カルチエドシャノン・ブリアン 783 3		(あ)いわね町会館 5124 4 追加実施	(あ)神代川アリーナ 5700 4 追加実施	休み
		1500 5	1567 6	0 0	5124 4	5700 4	
実施日			3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	
実施場所	春分の日	(あ)いわね町会館 4430 4 追加(休日)実施	(石)ホチル松多楼 3 追加実施	(あ)町田市総合福祉センター(旧本町会館) 3100 2 追加実施			休み
		振替休日					
		4430 4	0 3	3100 2	0 0	0 0	7530
実施日		3月28日	3月29日	3月30日	3月31日	4月1日	
実施場所	休み	(あ)ビッグ/レットふくしま 追加(休日)実施					休み
		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	

講演会

主催：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
後援：福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター

※大学院セミナー認定

# リスコミ最前線 #1

## ～環境学とリスク心理学の観点から～

2011年事故以降、リスクコミュニケーションに関する重要性への認識が高まっています。リスクコミュニケーションに関する議論は、学術的には、1970年度頃から始まり、日本では、特に阪神・淡路大震災以降に注目されてきました。とりわけ、リスク心理学や環境分野では、リスクコミュニケーションに関する研究事例の蓄積があります。

これらの分野における知見は、2011年事故以降のリスクコミュニケーションのあり方を考える上でも役に立つものと考えます。そこで、環境学およびリスク心理学の分野におけるリスクコミュニケーションの第一人者をお招きし、講演会を実施します。

2015年

11月13日(金)

18:40～20:30

福島県立医科大学 6号館 2階 第3講義室

演題1

「工場と住民の地域環境保全のためのリスクコミュニケーション」

竹田宜人先生

製品評価技術基盤機構化学物質管理センター調査官・横浜国立大学客員准教授

演題2

「リスク心理学から見たリスクコミュニケーション」

広田すみれ先生

東京都市大学教授

参加申し込み・問い合わせ先(参加費無料)

人数把握のため、事前に下記まで参加の申し込みをお願いします。定員に達した場合、参加をお断りする場合があります。

福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター リスクコミュニケーション室  
riskcom@fmu.ac.jp

## 検査結果通知 現行と修正案の関係

本格検査	のう胞	症 例	結 節							甲状腺か ら判断
			前回A1,A2判定			前回B判定				
			なし	5.0mm以下	5.1mm以上	なし	5.0mm以下	5.1mm以上		
	なし	A1①	A2①	B⑥	B①	A1②	A2④	B⑬	B⑧	C
	20.0mm以下	A2②	A2③	B⑦	B③	A2⑤	A2⑥	B⑭	B⑩	
	20.1mm以上	B②	B④		B⑤	B⑨	B⑪		B⑫	
	甲状腺から判断									

パターン1

パターン3

パターン2

パターン4

# パターン1

〒960-8031  
福島県福島市栄町10-21

福島 太郎 様

ID番号

平成〇〇年△△月□□日  
福島県  
福島県立医科大学

## 甲状腺検査の結果についてのお知らせ

この度は、私どもが実施した本格検査としての「甲状腺検査」をお受けいただきましてありがとうございました。今回の甲状腺超音波検査の結果について、以下のとおりお知らせいたします。

ない場合は「-」、ある場合は該当区分に「○」を入力する。→現行の表記方法を踏襲

**【今回の検査結果】**

1) のう胞について

のう胞の数	
単数	複数

のう胞の大きさ				
3.0mm以下	3.1～5.0mm	5.1～10.0mm	10.1～20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大ののう胞の大きさを計測しています。

2) 結節について

結節の数	
単数	複数

結節の大きさ				
3.0mm以下	3.1～5.0mm	5.1～10.0mm	10.1～20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大の結節の大きさを計測しています。

3) 今回の検査結果とこれまで(前回と前々回)の検査結果

検査日	今回		前回		前々回	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり
のう胞						
結節	なし	あり	なし	あり	なし	あり
判定						

検査年月日を入力

直近のもの

該当ない場合は「-」、該当ある場合は「○」を入力

A1かA2を入力

A1かA2を入力

A1かA2かBを入力

**【結果説明】**

のう胞や結節は時間の経過とともに新たに出現したり、消失したり、大きさや数が変化したりします。前回と今回で判定が変化していても心配はありません。

<のう胞を認めた方へ>  
今回認めたのう胞は治療の必要はなく、症状が出たり、悪性に変化したりすることは考えにくいものです。

<結節を認めた方へ>  
今回認めた結節は、その状態から判断して二次検査は必要がないと考えられるものです。大きさが小さいものでも二次検査が必要と判断されるものはB判定としております。

※同封の「甲状腺検査の結果について」(パンフレット)をご覧ください。  
※このお知らせは「県民健康ファイル」に記録・保存していただくこととなりますので、大切に保管されますようお願いいたします。  
※裏面の案内もご覧ください。

★びまん性疾患の疑いのある方など、判定委員会で受診勧奨と判断された方(現行電話対応相当の方)には、別紙を添付し、別送(個別に送付)とする。(※現在月10件程度、当面は電話対応も併用)

## パターン2

〒960-8031  
福島県福島市栄町10-99

福島 次郎 様

ID番号

平成〇〇年△△月□□日  
福島県  
福島県立医科大学

### 甲状腺検査の結果についてのお知らせ

この度は、私どもが実施した本格検査としての「甲状腺検査」をお受けいただきましてありがとうございました。今回の甲状腺超音波検査の結果について、以下のとおりお知らせいたします。

ない場合は「-」、ある場合は該当区分に「○」を入力する。→現行の表記方法を踏襲

#### 【今回の検査結果】

##### 1) のう胞について

のう胞の数	
単数	複数

のう胞の大きさ				
3.0mm以下	3.1~5.0mm	5.1~10.0mm	10.1~20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大ののう胞の大きさを計測しています。

##### 2) 結節について

結節の数	
単数	複数

結節の大きさ				
3.0mm以下	3.1~5.0mm	5.1~10.0mm	10.1~20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大の結節の大きさを計測しています。

##### 3) 今回の検査結果とこれまで(前回と前々回)の検査結果

検査日	今回		前回		前々回	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり
のう胞						
結節						
判定			B			

検査年月日を入力

直近のもの

該当ない場合は「-」、  
該当ある場合は「○」  
を入力

A1かA2を入力

B固定

A1かA2かBを入力

#### 【結果説明】

前回はBでしたが、今回はAと判定されました。  
のう胞や結節は時間の経過とともに新たに出現したり、消失したり、大きさや数が増えたり減ったりします。  
なお、今回の結果についてご説明を希望される方は、コールセンターにご連絡ください。

※同封の「甲状腺検査の結果について」(パンフレット)をご覧ください。  
※このお知らせは「県民健康ファイル」に記録・保存していただくこととなりますので、大切に保管されますようお願いいたします。  
※裏面の案内もご覧ください。

★びまん性疾患の疑いのある方など、判定委員会で受診勧奨と判断された方(現行電話対応相当の方)には、別紙を添付し、別送(個別に送付)とする。(※現在月10件程度、当面は電話対応も併用)

# パターン3

〒960-8031  
福島県郡山市麓山1-2-3

郡山 花子 様

ID番号

平成〇〇年△△月□□日  
福 島 県  
福島県立医科大学

## 甲状腺検査の結果についてのお知らせ

この度は、私どもが実施した本格検査としての「甲状腺検査」をお受けいただきましてありがとうございました。今回の甲状腺超音波検査の結果について、以下のとおりお知らせいたします。

ない場合は「-」、ある場合は該当区分に「○」を入力する。→現行の表記方法を踏襲

### 【今回の検査結果】

1)のう胞について

のう胞の数	
単数	複数

のう胞の大きさ				
3.0mm以下	3.1~5.0mm	5.1~10.0mm	10.1~20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大ののう胞の大きさを計測しています。

2)結節について

結節の数	
単数	複数

結節の大きさ				
3.0mm以下	3.1~5.0mm	5.1~10.0mm	10.1~20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大の結節の大きさを計測しています。

### 3) 今回の検査結果とこれまで(前回と前々回)の検査結果

検査日	今回		前回		前々回	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり
のう胞						
結節						
判定	B					

検査年月日を入力

該当ない場合は「-」、該当ある場合は「○」を入力

B固定

A1かA2を入力

A1かA2かBを入力

### 【結果説明】

二次検査をお勧めいたします。  
二次検査が必要な方の多くは治療を必要としませんが、念のため検査をお勧めしています。(急を要すると判断される方へは別途ご連絡を差し上げます。)  
現在診療を受けている方は、二次検査の必要のないこともありますので、状況と合わせてご希望される方法を返信用ハガキにてお知らせください。  
二次検査の内容については、同封のパンフレットをご覧ください。  
二次検査の日程等のご案内は別途ご郵送いたしますが、それまでの間に説明を希望される方は、二次検査専用のweb相談にてご相談いただくか、コールセンターにご連絡ください。

※同封の「甲状腺検査の結果について」(パンフレット)をご覧ください。

※このお知らせは「県民健康ファイル」に記録・保存していただくこととなりますので、大切に保管されますようお願いいたします。

※裏面の案内もご覧ください。

★びまん性疾患の疑いのある方など、判定委員会で受診勧奨と判断された方(現行電話対応相当の方)には、別紙を添付し、別送(個別に送付)とする。(※現在月10件程度、当面は電話対応も併用)

# パターン4

〒960-8031  
福島県郡山市麓山2-2-9

麓山 好子 様

ID番号

平成〇〇年△△月□□日  
福島県  
福島県立医科大学

## 甲状腺検査の結果についてのお知らせ

この度は、私どもが実施した本格検査としての「甲状腺検査」をお受けいただきましてありがとうございました。今回の甲状腺超音波検査の結果について、以下のとおりお知らせいたします。

### 【今回の検査結果】

ない場合は「-」、ある場合は該当区分に「○」を入力する。  
→現行の表記方法を参照

#### 1) のう胞について

のう胞の数	
単数	複数

のう胞の大きさ				
3.0mm以下	3.1~5.0mm	5.1~10.0mm	10.1~20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大ののう胞の大きさを計測しています。

#### 2) 結節について

結節の数	
単数	複数

結節の大きさ				
3.0mm以下	3.1~5.0mm	5.1~10.0mm	10.1~20.0mm	20.1mm以上

複数認められる場合は、その中の最大の結節の大きさを計測しています。

#### 3) 今回の検査結果とこれまで(前回と前々回)の検査結果

検査日	今回		前回		前々回	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり
のう胞						
結節						
判定	B		B			

検査年月日を入力

直近のもの

該当しない場合は「-」、  
該当する場合は「○」  
を入力

B固定

B固定

A1かA2がBを入力

### 【結果説明】

今回の結果は、甲状腺一次検査の判定基準では二次検査をお勧めするものですが、現在診療を受けている方は、二次検査の必要のないこともありますので、状況と合わせてご希望される方法を返信用ハガキにてお知らせください。

なお、これまでB判定で二次検査を受診されていない方は、二次検査の受診をお勧めいたします。

ご不明の点やご相談がある場合は、二次検査専用のweb相談にてご相談いただくか、コールセンターにご連絡ください。

※同封の「甲状腺検査の結果について」(パンフレット)をご覧ください。

※このお知らせは「県民健康ファイル」に記録・保存していただくこととなりますので、大切に保管されますようお願いいたします。

※裏面の案内もご覧ください。

★びまん性疾患の疑いのある方など、判定委員会で受診勧奨と判断された方(現行電話対応相当の方)には、別紙を添付し、別送(個別に送付)とする。(※現在月10件程度、当面は電話対応も併用)

パターン3及び4の方に対する  
返信用ハガキ文面(案)

1) 甲状腺二次検査の受診についてお伺いします。

どちらかに○をご記入ください。

- ア 希望する                      ———→ 4)へお進みください  
イ 希望しない                    ———→ 2)、3)、4)へお進みください

2) 甲状腺疾患の通院(入院)などの通常(保険)診療の状況についてお伺いします。

差し支えない範囲で、どちらかに○をご記入願います。

- ア 現在、通常(保険)診療を受けている  
イ 現在、通常(保険)診療を受けていない

※「通常(保険)診療は受けていない」と回答された方については、こちらからご連絡を差し上げる場合がありますので、ご了承ください。

3) 診療中の方は、現在の状況(甲状腺関係)についてお伺いします。

差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。(例:バセドウ病で通院加療中、手術後の経過観察中 など)

4) その他、ご相談したいことやご心配のことがあれば、ご記入ください。

目隠し用シール添付

ふくしま国際医療科学センターの全面稼働に向けての全体工程表

(平成27年11月1日現在 研究推進課、復興事業推進課)

施設名:災害医学・医療産業棟(旧A棟) 組織:医療-産業TRセンター、教育・人材育成部門、先端臨床研究センター

	①施設整備	②ネットワーク	③機器導入・設置	④研究・調査実施体制	⑤その他
27年/ 4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
28年/ 1月					
2月					
3月					
4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					

ふくしま国際医療科学センターの全面稼働に向けての全体工程表

(平成27年11月1日現在 放射線医学県民健康管理センター)

施設名:ふくしまいのちと未来のメディカルセンター棟(旧 D 棟) 組織:放射線医学県民健康管理センター

	①施設整備	②備品搬入・設置	③検査装置のシステム稼動	④その他
27年/ 4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
28年/ 1月				
2月				
3月				
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				